





皮膚腫瘍グループ：皮膚がん治療開発マップ 2026.1.

悪性黒色腫








対象	標準治療		JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage I	手術  切除+センチネルリンパ節生検 (原発巣Thickness 0.8mm以上)		JCOG1602 爪部原発 手術療法 2018.1. ~2024.10 →2029.10 		
Stage II	手術 切除+センチネル リンパ節生検 	術後補助療法 病期IIB-IIC ペムブロリズマブ		術後補助療法 BRAF V600変異 エンコラフェニブ +ピニメチニブ	術後補助療法 病期IIB-IIC ニボルマブ 高用量IFN
Stage III	手術  切除 ± リンパ節郭清	術後補助療法 ニボルマブ ペムブロリズマブ ダブラフェニブ+ トラメチニブ		術前補助療法 ペムブロリズマブ ニボルマブ +イビリムマブ 術後補助療法 ニボルマブ +レマトリマブ 等	
Stage IV	ニボルマブ ペムブロリズマブ ニボルマブ+イビリム マブ BRAF V600変異あり の場合 ダブラフェニブ+トラ メチニブ エンコラフェニブ+ピ ニメチニブ 上記が無効または困難 な場合 ダカルバジン	手術 切除可能な 転移巣 放射線治療 主に 脳転移に対す る定位照射 骨転移に対す る緩和照射		抗PD-1抗体を含む併用療法 ・BRAF/MEK阻害薬 ・KIT阻害薬 ・VEGF阻害薬 ・マルチキナーゼ阻害薬 ・抗LAG3抗体 ・抗TIGIT抗体 ・HDAC阻害薬 ・腫瘍溶解性ウイルス ・サイトカイン ・TIL療法 等	ニボルマブ+ レマトリマブ(LAG3) T-VEC ペムラフェニブ +コビメチニブ ±アテゾリズマブ テベンタフスブ (HLA-A*02:01陽性の ぶどう膜メラノーマ) 高用量IL-2
再発					

皮膚腫瘍グループ：皮膚がん治療開発マップ 2026.1.

悪性黒色腫 以外

対象	標準治療		JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage I	切除	放射線治療 (手術不能、拒否例)	JCOG2005 基底細胞癌 縮小マージン切除に関する単群 検証的試験 2021.1～2024.8→2034.8		基底細胞癌 表在型、手術拒否例 イミキモド
Stage II					
Stage III	切除 リンパ節郭清術	放射線治療 薬物療法 単独あるいは併用 (手術不能、拒否例)	JCOG2410(計画) 多発リンパ節転移を有する 乳房外パジェット病 術後放射線療法に関する ランダム化比較試験 2026.開始予定	上皮系 皮膚悪性腫瘍 ニボルマブ	有棘細胞癌 (皮膚扁平上皮癌) セミプリマブ 有棘細胞癌 (皮膚扁平上皮癌) セミプリマブ ペムブロリズマブ セツキシマブ 基底細胞癌 セミプリマブ ビスモデギブ 隆起性皮膚線維肉腫 イマチニブ メルケル細胞癌 ペムブロリズマブ
Stage IV	有棘細胞癌 (皮膚扁平上皮癌) 標準治療なし みなし標準 シスプラチン+ADM シスプラチン+5-FU イリノテカン	腺癌 標準治療なし みなし標準 ドセタキセル メルケル細胞癌 アベルマブ			
再発	切除	放射線治療			

皮膚腫瘍グループ：血管肉腫治療開発マップ 2026.1.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 /適応外薬
局所	切除 薬物療法 放射線治療 単独あるいは併用   	JCOG1605 二次療法 パゾパニブ Phase II 2018.1.～ 2023.3→2024.3 	BNCT※ PLAS試験 (NCCH2213) 一次・二次療法 ペムブロリズマブ/ レンバチニブ Phase II 2025.3.～	
リンパ節転移	切除＋リンパ節郭清術 薬物療法 放射線治療 単独あるいは併用   	レイサマリー https://jcog.jp/general/ppi/c/jcog1605_lay_summary/index.html		
遠隔転移	標準治療 バクリタキセル みなし標準 ドセタキセル アドリアマイシン アドリアマイシン併用化学療法 イホスファミド 悪性軟部腫瘍に適応あり			
再発	パゾパニブ エリ布林 トラベクテジン 